［創造］［充実］［発展］　高い志と思いやりの心をもち、自ら学びたくましく生き抜く生徒の育成
～ 笑顔と感動のあふれる大潟中 ～

サルビア

大潟中学校
学校だより
NO.6　R6.12.6
文責 小野貴幸

2024年 たくさんのご支援、ご協力に感謝申し上げます

月日が経つのは早いもので、2024年も残すところあとわずかとなりました。生徒の皆さんにとって今年はどんな１年だったでしょうか。学習内容や生活環境、小学校との違いに戸惑いながらも、先輩たちの姿を見ながら中学校生活に慣れようと、みんなで頑張ってきた１年生。小学校と比べて進度が速く、難しくなった勉強と部活動、クラブ活動を両立させることの難しさを実感し、友達や先輩たちとの関わりを通して、様々なことを身に付け、成長してきました。

先輩と呼ばれる立場となり、昨年度と比べてひと回りたくましく成長した２年生。中堅学年として更にステップアップしていくために、学習に向かう姿勢や方法、部活動への取組方など、自分たちで考えて行動できるように心掛けてきました。また、３年生を支えながら、１年生のよい手本となれるように頑張ってきました。

最上級生としての自覚と責任をもち、何よりも自分たちが楽しむことで学校全体を盛り上げ、よりよい大中にするために、力強く下級生を牽引してきた３年生。体育祭や大中祭、委員会活動や部活動、ひとりひとりの個性を十分発揮し、様々な場面で活躍してきた１年だったように思えます。学習面においても、根気強く課題に取り組んで自力解決を目指す姿や、友達と協力しながら学習を進める姿が見られました。日一日と入試日が近付いてきています。残された中学校生活を大切にし、体調管理に気を付け、進路希望を実現をさせることを期待します。

今年度は吹奏楽部の東北大会での金賞受賞、東日本大会出場、男子卓球部の県秋季卓球大会団体ベスト８など、各部活動が各種大会で素晴らしい成績を収めることができました。それも、様々な面で学校教育にご理解とご協力をいただいた保護者の皆様、地域の皆様のおかげだと感謝しております。来る年も変わらぬご支援をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

令和６年度 大潟中学校同窓会講話会

後輩たちへの贈り物～私の追い続けた夢～ Vol.17

11月27日(火)に第17回を迎える大潟中学校同窓会「講話会」を開催しました。今回は特別編ということで、本校開校時に着任し、第一期生を担任した○○○○氏を講師に迎え、「人それぞれの幸せを…」という演題で、講演をしていただきました。○○さんからは、自らの経験をもとにした、人生を豊かにする考え方や秘訣について、お話ししていただきました。○○氏の講話の中には「一瞬が一生を決める」、「現実を変えるのは現実的な判断ではなく、夢やロマンだ」、「人生の目的は幸せになること」などの重みのある言葉がたくさんあり、生徒たちの心にも強く響いているようでした。講話後の質疑応答の場面では、生徒から質問が出されましたが、分かりやすく、丁寧に答えてくださいました。今回の講話会を企画し、運営してくださった○○○○同窓会長をはじめ、同窓会役員の皆様に対しまして、深く御礼申し上げます。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 同窓会 講話会 生徒の感想 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

３Ａ　○○　○○さん

「物事ははっきりと言わないと伝わらない」という言葉が心に残っています。自分の心の中で考えているだけでは相手に伝わらない。自分の心の中にある愛やロマンは言葉にして伝えていかなければ意味がないのだということを知りました。○○さんの話を聞いて、自分のことを一番大切にするべきだと思いました。自分の好きなことや大切なことに正直に向き合い、貫いていくことが自分の生きる命のエネルギーになると思いました。私も○○さんのように、いくつになってもエネルギーをもち続けていたいと思いました。

１Ａ　○○　○○さん

「人のためではなく、自分のために頑張りなさい」という言葉が心に残りました。自分のために頑張ることができなければ、人のために頑張ることができない、確かにその通りだなと思いました。私も、まずは、自分のために一生懸命頑張りたいです。○○さんは、幼い頃の夢を夢で終わらせるのではなく、夢を目標にして叶えたところが素敵だなと思いました。私も○○さんのように、夢に向かって一生懸命頑張っていきたいです。

２Ａ　○○　○○さん

「一瞬が一生を決める」という言葉が心に響きました。野球でもたった１回、たった１つのプレー、たったの１球で勝敗が決まることがあるので、私も一瞬を大切にしたいと思いました。「現実を変えるのは現実的な冷静な考えではなく、夢であり、ロマンだ」という言葉も心に響きました。私も「現実を見た方がいい」とか「そんなの無理だよ」などと言われることがあります。他人の意見に流されず、自分が信じたことを、自分が感じたことを曲げずに、生きていきたいです。

これから先、どんなことがあっても、自分で決めたことは絶対にあきらめたくないなと思いました。自分の好きなことを最後までやり抜きたいです。

１Ａ　○○　○○さん

「夢」という言葉が心に残りました。私はまだ、はっきりとした「夢」をもっていません。いつか自分の「夢」を見つけたら、何があっても絶対にあきらめないで、叶えるために頑張っていきたいです。そうすることで、何かを残せたり、残せなくても幸せな未来が待っていると思うので、今の中学校生活を充実させて、未来のために頑張っていきたいです。

３Ａ　○○　○○さん

「現実を変えられるのは、現実離れした思考だ」という言葉がとても心に残りました。私は優柔不断で、何かをしようと思っても決断できず、できない理由や言い訳を考えてしまいます。でも、この言葉を聞いて、現実的な考え方で物事をやめてしまうよりも、挑戦して経験する方が成功をつかむチャンスがあると思いました。

○○さんは「夢や希望をもって、自分の幸せのために精一杯生きていくことが大事」と言っていました。私も自分が本当にやりたいことを見つけて、幸せをつかみ取っていきたいと思いました。そして、８０歳になっても○○さんのように、元気でいたいと思いました。

２Ａ　○○　○○さん

○○さんの話を聞いて一番心に残った言葉は「一瞬が一生を決める」という言葉と「自分が幸せになることが相手への最大の贈り物」という言葉です。僕は卓球の試合で、一瞬の判断ミスで負けてしまったことがありました。この言葉を僕の座右の銘にしようと思いました。そして、自分が幸せになることで周りの人も幸せになるんじゃないかと思いました。この２つの言葉を大切にして生きていきたいと思います。そして、○○さんのようにどんなに追い詰められても、自分のやりたいことをあきらめない強い心をもちたいと思いました。

３Ａ　○○　○○さん

自分は、勉強の毎日で、正直何のために勉強しているんだろうと考えることがよくありました。でも、○○さんの話を聞いて、なんとなくそれが分かったような気がしました。自分のもっている夢や希望を捨てずに、目標に向かって頑張れる、そういう人間に自分はなりたいと思いました。自分の人生はまだまだ長いので、これからの人生に夢と希望をもって歩いて行きたいと思いました。

僕の人生に意味を与えてくださって、ありがとうございました。

２Ａ　○○　○○さん

「誰でも、例外なく幸せになる」という言葉が心に残りました。人のことよりも、自分のことだけを考えていけば、いずれ他の人に何かを与えられるということを知りました。

人の意見は気にせずに、自分の好きなことに取り組んできた○○さんはすごいと思いました。僕も自分で決めて、自分で行動できるようになりたいと思いました。

１Ａ　○○　○○さん

「自分が目指すところにまっすぐに行く」という言葉が心に残りました。自分が夢をあきらめない限り、夢は叶うということを教えてもらいました。○○さんの、あきらめないで最後の最後までやり遂げるという姿勢を自分自身のラグビーやスキーに生かしていきたいと思いました。

赤い羽根共同募金活動

活動を通して福祉に関する理解と関心を高め、思いやりの心と規範意識を育むことを目的として、生徒会の厚生委員会が中心となって、赤い羽根の募金活動に取り組みました。11月30日には、１、２年生がポルダー潟の湯前、道の駅おおがた前、あぐりプラザ前の３か所に分かれて、街頭募金を行いました。12月８日には村社会福祉協議会の方に活動を通して集まった募金を贈呈しました。

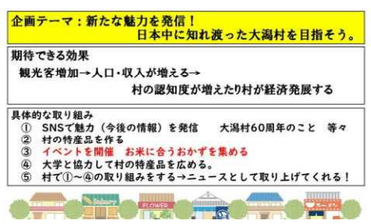
集まった募金は、今後の大潟村の福祉活動に役立てられることになります。生徒、保護者の皆さん、ご協力ありがとうございました。

大潟村ＰＴＡ連絡協議会（３Ｐ連）研修会

大潟村ＰＴＡ連絡協議会の研修事業として、11月23日（土）に本校体育館を会場に研修会を開催しました。今年度は、小学校音楽部（スマイルミュージッククラブ）の〇〇〇〇先生が前代表、現指揮者を務めている「ＮＰブラスオルケスタ」をお招きして、「スマイルミュージックフェスタ2024」と題して、音楽集会を開催しました。ＮＰブラスオルケスタ単独の演奏が６曲、大潟中学校吹奏楽部との合同演奏がアンコールを含め４曲と全10曲の演奏が披露されました。総勢200名以上の参加者があり、また様々なジャンルの曲目があり、子どもからご年配の方々まで一緒に盛り上がり、大盛況の音楽集会となりました。ご参加くださいました保護者、地域の皆様、開催にあたりご協力くださいました皆様、誠にありがとうございました。

３年生　総合的な学習の時間

11月26日（火）に髙橋村長、三浦教育長、松橋村議会議員をお招きして、総合的な学習の時間の発表会を行いました。３年生の総合的な学習の時間では、大潟村のよさと現状の課題について調査し、自分の将来と照らし合わせて、今後どのように村と関わっていくべきか、考えてきました。今回はその学習のまとめとして、村への提言、意見として村長に報告し、それに対する村長の助言をいただきました。髙橋村長は各グループの発表に対して丁寧に感想を述べてくださいました。また、「大潟村のことを自分自身の興味・関心に応じて、独自の視点で考えていることに感心しました。」など、お褒めのお言葉をたくさんいただきました。



座禅教室・３年生

11月7日（木）に、八郎潟町の清源寺の〇〇〇〇住職を講師として、座禅教室を行いました。少年保護育成委員会の事業の一環として行われたもので、大潟中学校で実施するのは今年度で４回目となります。座禅の組み方を指導していただいた後、約20分間の座禅を行いました。座禅の後、希望した生徒には、警策（きょうさく）を使っての激励をいただきました。

生徒たちにとって、心を落ち着かせ、自分自身と向き合う、よい時間となりました。

〇〇住職曰く、「ただ座ることを目的として、頭に浮かんできた様々なことがらに惑わされないよう、ただ座る」

歯みがき教室・１、２年生

11月11日（月）に、歯科衛生士の方々を指導者として、歯みがき教室を実施しました。むし歯や歯肉炎を予防するための効果的なブラッシング方法について、個別に指導を受け、口腔内の健康意識を高めることを目的として実施しました。前日までに自宅で染め出しをして、口腔内の写真をタブレットで撮影し、その写真を見ながら、一人一人に丁寧にブラッシングの仕方を指導していただきました。全体的に歯みがきが上手で、磨き残しが少ないとお褒めのお言葉をいただきました。

アンサンブルコンテスト中央地区大会

12月21日（土）のアンサンブルコンテスト中央地区大会に向けて、12月17日（火）15:00から、校内演奏会を行う予定です。保護者の皆様にもぜひ演奏をきいていただきたいと思います。

［ほっとタイム］

12月になり本格的な受験シーズンとなりました。たまに生徒から「なぜ、勉強しなければいけないのか」と聞かれることがあります。なかなか返答が難しい質問で、10人の先生がいれば、10通りの返答があるかもしれません。いろいろな考えがあると思いますが、皆さんご存じ(?)の「フーテンの寅さん」は勉強する意義について次のように考えているようです。

男はつらいよ「寅次郎サラダ記念日」　☆勉強や進学に悩む甥の満男（吉岡秀隆）との会話より

満　男　:「大学に行くのは何のためかな」
寅さん:「決まってるだろう、勉強するためじゃねえか」
満　男　:「何のために勉強するんだ」
寅さん:「むずかしいこと聞くなって言っただろう。…… つまり、何と言うか、人間長い間生きていりゃ、いろいろなめんどうなことにあうだろう。そん時、俺みたいに勉強していない人間はいい加減にサイコロを振ったり気分で決めたりするしかないんだ。それが、勉強した奴はな、自分の頭でキチンと筋道をたててどうすればいいんかってことを考えられるんだ。そのために大学に入るんじゃないか。あー、慣れないことを考えたら頭痛くなってきた」

知識が豊富で、様々な考え方ができ、様々な問題に対応できる人の方が、他人から認められ、活躍できる機会が多くなると思います。その積み重ねが「幸せな人生」につながっていくのではないでしょうか。大中生がひたむきに自己研磨に努め、様々な場面で自己のよさを発揮し、「幸せな人生」を送っていくことを願っています。（小野）